

令和8年第8回加西市教育委員会会議録

- | | | | |
|---|------|--------------|---------|
| 1 | 開会日時 | 令和8年8月19日（水） | 14時00分 |
| 2 | 閉会日時 | 同 日 | 15時00分 |
| 3 | 開催場所 | 市役所5階 大会議室 | |
| 4 | 出席者 | 教 育 長 | 菅 野 恭 介 |
| | | 委 員 | 深 田 英 世 |
| | | 委 員 | 中 川 和 之 |
| | | 委 員 | 荒 木 努 |
| | | 委 員 | 高 橋 みのり |

- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	伊 藤 勝
市参事兼こども未来課長	上 坂 智津子
教育委員会次長	小 坂 卓 司
教育総務課長	松 本 富 美
学校教育課長	藤 本 由 佳
生涯学習課長	北 島 悦 乃
総合教育センター所長	三 村 尚 彦
図書館長	桜 井 雄一郎
学校再編室長	中 井 孝 浩
教育総務課長補佐兼総務係長	奥 本 茂 応

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移ります。

- 6 付議事項

なし

- 7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

- 8 質問及び討議の内容

なし

9 議決事項

なし

10 報告事項

教育長

7月24日は令和8年度播磨東地区教育委員会連合会、理事会、総会、研修会に行ってきました。出席の委員の皆様ありがとうございました。

7月28日は令和8年度加西市文化財保存活用地域計画協議会を開催しております。加西市の文化財の保存活用に関する10年計画ですが、それについての現在地と今後について協議をしております。

7月29日は近畿都市教育長協議会の役員会がありました。

7月30日は定例校長会、その後、善防統合小学校の開校準備委員会を行っております。詳細につきましては、開校準備委員会便り等をご参照いただければと思います。

7月31日は教育講演会があり、健康福祉会館で「シン・読解力で育むこれからの生き抜く学力」について国立情報学研究所の新井紀子先生に講演をいただきました。主にリーディングスキルトレーニングの意義や必要性を具体的な方法も含めてわかりやすく説明していただきました。

8月2日はサイサイまつりが行われました。

8月3日は東・北播小社研合同夏季研修会となっておりますが、小学校の社会科の研究会の東播磨と北播磨の合同の夏季研修会を行っています。小学校の社会科の研修会をする機会がなく、本市が担当にいうことで久しぶりに開催をしております。

8月7日から9日はRST 授業改善実施研修会が福島県郡山市であり、下里小学校の教頭先生と行ってきました。特に授業改善をどのように進めるかという視点について具体的に研修をしてきました。今後、各学校で実践できるようにしていきたいと思いますので、次年度はできるだけ多くの先生方に直接学ぶ機会を持つことで、本当に何を目指しているのかということがクリアになってくると思っております。9月にリーディングスキルトレーニングをされている教育のための科学研究所の目黒先生に来ていただいて、講話と指導をしていただくことになっております。

8月12日は少年野球の大会で挨拶をしております。

8月17日は教育委員の連絡会でした。

教育総務課長

令和7年度分点検評価報告書について報告します。7月7日に評価委員会を開催し点検評価についてご協議をいただきました。評価委員からは、点検評価の最終ページ

にもあるとおり「おおむね妥当」という評価をいただいております。委員からは昨年度にご指摘いただいた「担当課によって書き方が異なっていたこと」に対しても、今年度は改善されているとの意見をいただいております。次年度に向けては数値で示することができる内容については数値を記載するように自己評価の根拠を示したいと思っております。また、課題や改善策を記述することで、次年度の取組みが明確になるのではないかとのご意見もいただいておりますので、いただいた改善点につきまして来年度に反映していきたいと考えております。

加西市学校調理業務委託について報告します。優先交渉事業者は、株式会社東洋食品です。東洋食品は、西脇市、多可町、丹波市、高砂市、太子町、神戸市、明石市、たつの市、伊丹市と多くの自治体の給食センターの調理業務を受託しており、多くの経験とノウハウも熟知しているうえ、近隣にたくさん給食センターがあるので万が一のときに応援体制も取ることができるメリットがあると考えております。8月17日に2回目の定例会を開催し、今後の雇用に関するスケジュールについて詳細に話し合いをしました。8月28日金曜日に南部給食センターにおいて調理員に向けた会社説明会を開催する予定です。

(教育長から補足) 次年度は点検評価の方法が大きく変わりますので、できるだけ早めに評価指標を固め公表できるようにします。

教育委員の質問と教育総務課長の回答

- ・官から民という本当に大きな変化があって、その中で現在の調理員の方はいろいろな不安を抱えられる可能性がありますから、本当に丁寧にさせていただいているということで安心しました。近隣の自治体が東洋食品に委託されているということで、緊急の場合に別の調理場をお借りできるということで少し安心しました。子どもたちが安全な給食を食べられるのが一番大事なことだと思うので、みんなが安心できるよう丁寧に進めてください。

市参事兼こども未来課長

令和9年度学童保育園申込みのお知らせについて報告します。一斉申込期間をこども園に合わせて例年より1か月前倒しにしております。

令和9年度こども園等の入園申込みについてですが、賀茂幼児園の閉園時期の決定に向けて募集年齢の変更がございます。

賀茂幼児園の閉園方針及び今後の対応についての報告です。閉園方針と時期については、令和11年3月末をもって閉園の方向で進めていきたいと考えております。判断理由として、在園児の減少に伴い適正な園運営や早朝預かりの継続が困難となるおそれがあるため、早期閉園を検討していたところですが、既に教育的指導が始まってい

る現3歳児については、慣れ親しんだ環境での学びの連続性を確保するため、現3歳児が卒園する時期を見込み、令和11年3月に閉園することとしました。閉園に伴う転園児への支援についてですが、説明会やその後のアンケート、個別のご質問でいただいた保護者の不安は主に3点に集約されたため、それぞれに対する方策を検討しました。1点目の子どもが転園後、楽しく新しい園に通えるかが不安であるというような内容については、見学支援や移行支援、公立園の場合には教諭の転園などを実施します。2点目の経済的な不安については、転園先の園指定物品の無償貸与や費用補助を行います。3点目の希望園への転園ができるのかという不安には、入所枠の確保や優先入所など、転園希望園との調整を十分行うなどして、保護者の不安に寄り添い、子どもたちが転園しても楽しく園生活を送れるように支援を行っていきます。

今後の賀茂幼稚園での園児受入れについてです。令和11年3月までに卒園される現3歳児以上については、少しでも多くのお友達と生活が送れることを目指し受入れを継続します。しかしながら、現2歳児以下については、途中転園が必須となることから転園の負担を強いることとなるため、新入园児の募集は行わない方針です。今後については決定事項を保護者に丁寧に説明をした上で、理解促進を継続して行います。また、閉園までの期間においても、質の高い保育環境及び預かり保育等の維持に万全を期していきたいと考えております。

教育委員の質問と市参事兼こども未来課長の回答

- ・令和11年3月末までとし、令和10年度初めはもうどの年齢も受入れはストップということですか。

(回答) 新規受入れについては、来年度は4歳児と5歳児の受入れをしますが、3歳児以下の新規の受入れをしないという方針です。

- ・令和10年度に5歳児になる子どもは入れるかわからないということですか。

(回答) 4歳児と5歳児になります。

- ・2歳児以下の保護者の方ですけど、説明会に行かせていただいて聞いていると、保護者の言うとおりでなという感じもします。2歳児以下に関しては、1人でも合意が得られなかったら当初どおりにしてほしいという話を事前にお話ししましたけれども、基本的に合意を得られているということで間違いないですか。

(回答) 閉園時期については、閉園までは通わせるかもという1歳児の保護者の方のお話は聞いていますが、閉園そのものに全く反対ということは今のところ聞いていない状況です。

- ・この対応案を基に保護者に説明してきちんと話を進めていくという形ですよね。教育委員会が決めたんやと神戸新聞に載ってしまったんですけども、これを軸に本当に丁寧に説明して納得いただくという方向で進めていただきたいと思います。(回答) 今回、明確に何年何月というところまで説明をさせていただきましたので、これでご了承いただけるということであれば、これをもって保護者の皆さんにも説明をさせていただきたいと考えております。

生涯学習課長

玉丘古墳の発掘調査についてご報告いたします。9月から10月の2か月間で玉丘古墳の発掘調査を実施します。玉丘古墳はこれまでの調査により古墳時代中期に築かれたとされる前方後円墳で、3段に築かれた全長約109メートルの古墳です。この調査は今年度から令和13年度までの6年間で順次実施をしていきますが、今年度は東側のくびれ部、いわゆる鍵型のくびれているところにある造出と呼ばれる部分の調査を行います。造出の構造、そこで儀礼が行われた痕跡があるか、または埋葬された施設があるかどうかなどの確認、遺構の保護を目的として行います。調査は考古学を学ぶ大学生、それから大学院生20名と共に実施します。期間中には現地説明会、学校向けの見学会も開催する予定です。暑い時期の調査となりますので、調査に携わる関係者の事故、とりわけ健康面には十分注意しながら進めていきたいと思っております。

学芸員いわく、この職に就いていても前方後円墳の発掘調査に携われることは、めったにないことで非常に嬉しいとのこと。本当に今回のような機会に恵まれることはめったにないことだそうです。現地説明会の日程が決まりましたら、教育委員の皆様にもお知らせをいたしますので、ぜひ足をお運びいただけたら幸いです。

(教育長から補足) 発掘調査につきましては、子どもたちにとっても非常に貴重な機会になると思いますので、許す限り見学等の機会を設けられればなということも考えております。一般の方にもそのことを言いたいですし、それから今、少し言われましたように実は今までにない発見があるかもしれないと少し予想がされているということで、それにつきましても玉丘古墳のまた新たな歴史を刻むことになるかもしれません。今回の発掘調査は本市の学芸員だけでなく、そういう古代の歴史に携わっている人々にとっても、非常に希有な機会であるということで、これが加西市のみならず他のところでも大きな発見になるようにと考えている次第です。

1.1 教育委員の提案とその他

- ・ウォーターサーバーと散水栓ですが、今の状況はどうなっていますか。

(教育総務課長の回答) ウォーターサーバーにつきましては、昨年度に委員から提案いただいたこともありましたが、予算要求をして各学校に案内をしました。中学校からは必要ないという意見があり、小学校は置き茶があるので必要に迫られてい

ないと意見をいただきました。学校から要望がありませんでしたので、今は設置しておりません。

- 昔の「これだったら行けるやろう」という考えだと思うんですけど、今からは予防をしていかなければいけない時期です。まだまだこれから温度は多分上がっていきますから絶対必要だと思うんです。もう1回校長先生にも説明していただきたいと思うんです。1人でも死者が出たら本当に大問題です。今はもう予防をする時代で、結果から対策をするのは全く駄目な時代になっているんです。

(教育総務課長の回答) 約40年前は学校にエアコンがありませんでしたが、今はありますので、気温は高いけれども環境的に学校の教室にいる間は安全だと思います。今はバス通学も始まって教育委員会側で対策をしているのと同時に、学校側でも工夫をしていただいています。委員がおっしゃったこともありますので、もう1度学校とも相談をしてみます。

- 通学の話ですね。通学のところはどうしても対処できないので、思っているよりさらに厳しい状況で通学しているということを念頭に置いていただければありがたいという話です。

(教育委員会次長の回答) 今は教室にエアコンがあり、暑い時期は外で体育をすることを一切避けています。小学校に至っては外遊びさえしないような状況ですから、対策が一定の水準で十分にできていると思います。ウォーターサーバーについては、学校として子どもの口に入る物についてはかなり慎重に検討しています。水とはいえ、これが有効だとわかっても「すぐに導入しましょう」というところには至らず、学校と慎重に協議しながら進めるべき内容だと考えています。

- もし熱中症で搬送されて重体もしくは最悪の場合というような事故が起きた場合は、どうされるのですか。

(教育委員会次長の回答) そうならないように対策をしています。水だけが熱中症を防ぐ全てではないと思います。置き茶もありますし、子どもたちは大きい水筒を持ってこれる状況なので、現状でもそれほど危険とは言えないと思います。

- 実際に熱中症になって体調が悪くなった児童とか生徒にはどうされるのですか。

(教育委員会次長の回答) 保健室などにオーエスワンや緊急用の飲み物を準備しております。今は製氷機もありますので氷もあります。

- その子が重症になった場合は、どうされるのですか。

(教育委員会次長の回答) 直ぐに救急車を呼びます。

- ・その対策のマニュアルとかはあるんですね。

(教育委員会次長の回答) 熱中症ガイドラインを作っています。

- ・熱中症が起きた時は大変ですよ。やっぱり予防ですからね。

(教育委員会次長の回答) そのリスクはゼロにはならないので、慎重にやっています。

(教育長の回答) 小学生の小さい子が自分で管理できないという中で、どうしてもそういうことが必要になるかどうかというところだと思うんですね。今、次長が申し上げたように、暑さは誰の責任でもないの、それをどのようにして対応していくかということだと思うんです。今のところウォーターサーバーがなかったために、熱中症で重症になったようなケースは実際にはありません。要はウォーターサーバーがなくて、子どもたちへの置き茶もなくて、水がなくてとなれば、それは当然起こる可能性もあるかと思います。ただ、なぜ学校のほうがあまり言わないかということ、なかなか置き茶が減らないということがあります。置き茶はあるんですけど、実はそれほど置き茶がなくなってもう飲むお茶がないというような現状になっていないということが一つ大きいんですね。学校としてどのように考えているかを学校と相談しながらになります。ただ、おっしゃられたように必要であれば、当然入れなければいけません。去年はそういう結果になりましたけど、今年はさらに暑くなっていますし、現状であれば例えば少なくとも小学校に入れなければいけないというようなことであれば、小学校への導入についてまた今後検討していかなければいけないと思っております。

また、WBGT というのがございまして、その指数が 31 を超えれば活動しないというような基準を守って活動しています。中学校の外の部活動の場合、7 時や 8 時とか朝早く始めて 10 時を過ぎた頃には終わる、または夕方だけにしていて、昼の暑い時間は活動しないというのが一般的かと思います。体育館には今年からエアコンが入っていますので、体育館の部活動は普通に行っていると思います。

要するに中学校の今の意見としては、中学生になったんだから、どれぐらいお茶が必要かというようなことも含め、自己責任で持ってこさせることが、大きな一つの勉強だという考え方があるんですね。保健室にはきちんと氷もあるし、保冷サーバーも全部置いていて、万が一の場合はそれをフル活用します。今のところ熱中症の報告は聞いていませんし、加西市として熱中症で倒れて搬送したという報告はございませんので、そこについてはこの暑さの中でも今のところそういう活動が安全に行われているというのが現状かと思います。中学校の立場としては、「各個人で自分の必要な量を持てきましょう、2 リットル必要ならば 2 リットル持って来ましょう」と言われているというのが、現状と理解しているところです。

さらに温度が上がったり、また別のことがあつて必要になつたりということであれば、考えなければいけないと思いますが、そもそもあと2年で部活動はもう地域展開をします。地域展開をしてそれぞれの活動が学校の手から離れた場合、教育委員会がそこまで管理できなくなると、実はそちらのほうが今後もっと難しい問題になってくるかなと考えています。今は教員が非常に丁寧にやっていますが、それがなくなると、昼間の活動などがあまり制限なくされているところもあるかなということで、今後はそちらのほうが大きな問題かなと思います。授業の中ではコントロールしながらできますので、次長が今、言ったような形ではそこは考えたいなと思っています。

- ・地域移行で教育委員会は関係ないというのではなしに、加西市の子どもなんだから、切れ目なしで守ってあげなければあかんと思うんですわ。

(教育長の回答) 守るということですが、ここではっきりさせないといけないのは、市民全体で守るという気持ちを持たないと駄目だということです。誰かにそれを任す、例えば教育委員会に任すとか、学校に任すとかじゃなくて、要するに地域全体で子どもを見ましようというのが地域展開の一番大きな柱なんです。地域展開してもやっぱり学校が全部見るんだったら、地域展開ではないです。学校ももちろん関わりますけど、子どものことなので、保護者であつたり地域であつたり、それに対して責任というものの所在をはっきりさせなければいけなくなってきましたよね。例えば少年野球をするのは小学校の生徒や子どもだけけど、少年野球で何かがあったときに小学校の責任になるかというのと、そうではないのと同じになってくると思います。誰がどう責任を取ってくるのかというのは、非常に難しいことです。

地域展開については、私たちは慎重にやっていますから他の市よりも少し遅いですね。だから、そのことについてもしっかりと考えながら、子どもたちが困らないように、保護者の方も困らないようにしていきたいと考えています。学校は知らないという意味ではないですが、今までと同じように学校が全部しなさいよという意識については、地域の方も保護者の方も変えていただかないと、加西市から全く中学校の放課後の活動がなくなってしまうのでね。

- ・やっぱり市から提案してあげないとあかんと思うんです。

(教育長の回答) 提案はします。

- ・保護者はどう思っているのかなと思います。部活でこれだけ一生懸命やって、帰ってくるときにもこの暑さやから少しは水分を取らせなければあかんと思いますし、水分補給が楽ならウォーターサーバーも考えてしまうんです。実際の保護者はどう思っておるのかなというのが気になるんですけどね。

(教育委員会次長の回答) ウォーターサーバーが必要かを保護者には聞いたことはありません。ただ、中学生ですからある程度自分で判断して行動するということは教育の目標でもあります。万が一なくなったら保健室に行ったら氷もあるし緊急用のオーエスワンもあります。

- ・そこまで先生が管理できるかどうかですね。管理面もちょっと心配なので。
- ・統合中学校になったら倍以上になるじゃないですか。善防中だったら5倍ぐらいになります。そういうことを考えると心配です。この暑さは半端ではないので、本当に起きたら取り返しがつかないんじゃないかと私は思うんですけどね。
- ・今は気温の確かなデータがあって、保護者が子どもの頃は約30度だったのが、現在は37度近くになっているということで、保護者は「自分が子どもの頃はこれぐらいお茶を持っていけば大丈夫だった」ということが多分ありますが、その意識を変えてもらわないといけないと思います。原則は中学生ぐらいになったら生徒自身が、自分の必要な飲み物を考えてできると思います。

ただ小学生、特に低学年については、保護者に30年前とは全然違うという状況をきちんと理解してもらって、自分が子どもの時の水分量では全然足りないという啓発をしてご協力をお願いするという、共通の意識を全員で共有して子どもたちの健康や安全を守っていくべきだと思います。子ども自身が考えてできる部分は発達段階によっても違いますし、やはり子どもができない部分は、大人も行政もカバーしていかないといけないと思います。そこを十分に検討して、ウォーターサーバーよりもっといい物があるかもわかりませんし、だから一択ではないと思うんですね。今までは9月に入ると運動会や体育祭の練習をしていましたけども、それを10月に移してもらうなどの対策をしながらやっていただきたい。

今までに経験したことのないような気温なので、ある程度危機感を持ちながら子ども、保護者、教員が共通の認識として持たなければいけないと思います。子どもを守るということは、学校も守るし、親も守らないといけませんから、学校の先生方はそれをきちんと伝えていって、学校でできることと家庭でできることというのを共有していただきたいと考えてところです。理想論に近いですが、それが少しでも現実になればと思っています。

(教育長の回答) 一度、この夏の現状の中で、子どもたちが水分も含めてどれぐらい実際に困っているのかというようなところを調べていただいたらどうですかね。その上で、それが現状なかなか解決できないということであれば、考えていかなければ仕方ないのかなと思います。そういう意見も出ていますので、一度調べてもらった上で考えるということはどうですか。

- ・高松市教育委員会では、高松市の全小・中学校にウォーターサーバーを置いていますから、その現状を調べていただければと思います。高松教育委員会がなぜウォーターサーバーを全校に設置したかという、さっき言ったとおり、この暑さで持っていたお茶とか水とかがなくなってしまう子が多くて、なかなか学校で補給できないから、「これは命に関わること」と全小・中学校にウォーターサーバーを設置したというのが経緯です。

- ・学校では熱中症に関してかなりいろいろなところで言っているんですけども、実際はそこで漏れる、こぼれるところがあるということです。もちろんウォーターサーバーを入れている市があるということは、それなりにいいと思って入れているところがあると思いますが、やり方もいろいろありますし、それから保護者の考えでも、保護者が全部そうやって見てあげてできるところもあれば、子どもの考えもありますし、学校の先生の考えもそれぞれあります。

それで、熱中症になったことがあるかどうか、どういうところで問題があるか、どういうことをしたらいいのかというのは、保護者が一番情報を知っていますから、その要望を取ってから、どういう対策をするかを考えるのがかなり重要なことだと私は思っています。

- ・水分補給というのはとても大事な問題だと思うんですけども、自分で考えて必要な量を知っていくというのはとても大事なことで、それは保護者にもきちんとわかっていただいているということも大事です。一方では、本当にそこまできちんと見てくださる保護者がどれだけあるかというのも、問題はあるんですけど、逆にわかっていただかないといけないことだろうと思っています。

(教育長の回答) 今ありましたように、そのことについては一度情報をきちんと取ったうえで、判断をしていきたいと思います。命に関わることですので、「これで大丈夫やろう」というような軽い気持ちで言っているわけではもちろんありません。もう一度確認のために言いますが、中学校の部活動をしている現状を見ていただくとわかると思うんですが、ちょっとやったらすぐに水分補給、ちょっとやったらすぐに水分補給しています。「勝手にしなさい」では水分を取らないので、練習の間に休んで、水を今飲みなさいという補給タイムをつくってやらせます。そういうことは教員が丁寧にやらせていただいているのですが、それでもやはり万が一のことは当然ございます。また、今言われたようにお茶がなくなってしまうこと、またなくなっても言わないような子もあれば、それは問題があるので、本当のところを知らないといけないと思います。

- ・RSTの新井先生の講演研修会に参加させていただきました。私も若い頃に、夏休みになると年配の先生から「教師の良心が燃える夏が来たよ」と、「この機会に何件も市を越えていろいろな情報を集めに行きなさい」ということを言われて行っていました。今回は全員参加だったと思うんですけども、先生方が興味を持っている、納得されるような何かざわめきであったり、ちょっと笑われたりして、これを手がかりにという思いで聞いておられるというのをすごく感じましたし、私自身もすごく勉強になりました。

現学習指導要領になってから、どの教科でも子どもたちの思考力とか判断力とか表現力とかを育てるという方向で、基本的に進めてこられたのではないかと思います。ですが、私は国語のことに関わらせていただいていた学校もあったりしたので、国語の研修会を泉小学校でされるということをお聞きし、昨日行ってきました。やはり多くの先生が熱い思いを持ってきておられて、何かを手がかりに子どもたちに関わるというのは、書いたノートのまとめを一部見るということでもその子一人一人に関わることになりますし、しっかりと基本の学力もついていくと思います。子どもたちは何かできるようになりたいと思って学校に来て、それに先生が応えようと自分たちで研修に来られていて、子どもに関わる機会が多くなればなるほど、一人一人に細かいことを指導していくことになり、生徒指導との両輪、生活指導との両輪になるなと思いました。

子どもの力を上げてやるということを先生たちはすごく欲しておられて、頑張っ て子どもたちの指導に生かされて、子どもたちのつながりもさらに深くなれば、生活の中で子どもたちと先生との信頼関係もすごくできてくるんだろうなと思いました。RSTをきっかけとして、何かみんなと一緒に取組もうというようなものを昨日の国語の研修の中でもすごく感じました。また、教育委員会のほうでもいろいろバックアップをされていると思いますけれども、引き続き先生方は頑張っておられるな と思いましたので、またよろしくお願いします。

(教育長の回答) リーディングスキルトレーニングにつきましては、どの教科についても一番ベースのベースになる部分ということで、本市として取組んでいきたいと思っております。成績を伸ばすというのは一つの結果なんですけど、それだけではなくて結局、そのコンピテンシーを伸ばすことによって、子どもたちにとって将来生きていく中でいろんなものを読んだり聞いたり見たり話したりするベースができるという、それが何よりも一番大きな目標で、単に言葉を理解していたらできる というようなものではないということです。

私は高校の数学の教員でしたが、教科書には数学の内容が書いてあるわけですから、教科書を読んだらわかるやろうと思っても、高校の数学の教科書を読むだけでわかる人なんて、めったにいないわけですね。勉強が苦しい子にとってみたら、全ての教科書がそうなんです。読んでもわからない、わからないから苦しんでい

るわけです。そこで読んでわかるようにしてあげることが、単に教科書だけじゃなくて、これからの人生であらゆる面でプラスになっていくということです。私たちはそれをしっかりと意識してやっていこうというのが、今のリーディングスキルなので、ぜひそのことをご理解いただいて進めていきたいと思っています。

- ・西播磨の公民館を回る仕事をしていまして、たつの市の保育園・こども園のパンフレットをお手元に配付しました。加西市では特定の日に来て話しするだけで終わっていると思うんですが、たつの市は結構気合を入れて、保育所・認定こども園の見学バスツアーをやっているんです。ここに書いてあるように私立 15 か所、公立 2 か所計 17 か所を回るようになっています。加西市もこども園を回るような見学ツアーを 1 回やってみたらどうかと思います。学生や保育士の経験がある人も大歓迎と書いてあるので、こういうことをやったらいいんじゃないかと思ってパンフレットを取ってきたんです。検討していただけたらと思います。

(市参事兼こども未来課長の回答) 前回パンフレットをお配りしていると思いますが、加西市でもたつの市と同じような就職フェアいう形でさせていただいておりましたが、園より土曜日に人を出すのが難しいという意見がありました。そこで、今年度新たな試みということでリーフレットを作って、そこにインスタ用の QR コードをつけるという形式にしました。各私立園から少しずつお金を出していただいて、検索すると上位に表示される仕組みになっています。今日は、数字を持っていませんが、かなりの方からアクセスがあったということで、実際に園に連絡をされたり、面接を受けられた方も出てきたりと聞いています。この取組みがうまく行けば良いと思いますし、これだけでは見学などに繋がらないということであれば、今日いただいたご意見も参考に提案させていただきたいと思っております。

- ・私は実際に行ってみてどうなのか確認をするタイプなので、インスタとかに上がっていてもあまり伝わってこないというのが私の考えなんです。学校訪問で回っているから、それと同じような感じでやったらどうかという提案なんですけど、一度お願いします。

(市参事兼こども未来課長の回答) ありがとうございます。

(教育長の回答) 貴重な提案ありがとうございます。

1 2 今後の予定について

- ・令和 8 年第 9 回 定例教育委員会 9 月 16 日 (水) 14:00～ 5 階大会議室
- ・令和 8 年第 10 回 定例教育委員会 10 月 21 日 (水) 14:00～ 1 階多目的ホール

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和8年8月19日

出席委員

職員
